

環境活動レポート

エコ印刷から始まる
持続可能な社会へ

株式会社 プリプレス・センター

2011年7月発行
活動期間(2010年6月~2011年5月)

はじめに

地球環境の保全は人類共通のテーマであり、企業も自らの役割を認識し具体的な行動を起こすことが必要です。株式会社プリプレス・センターは、全ての事業活動において環境に配慮し、積極的に環境の維持・改善・啓発に取組み、社会から信頼される企業を目指します。

印刷業としてできること

印刷業とは大量に紙資源を消費する製造業です。私たちに課せられた使命は、地球環境の負荷を最小限に抑えながら、文化を広く伝承するお手伝いを行い、サステナブルな製造体制を構築し社会に貢献することあります。では、環境負荷を低減し、どう製造業としての役割を果たすのでしょうか？

《 プリプレス・センターは約束します 》

1. 無駄な量は作らない。(必要な時に必要な量をお届けします。また、適正量を提案します)
2. エコアクション21を通してPDCA(Plan、Do、Check、Action)サイクルによる、地球環境の負荷を最小限に抑えた製造体制を構築します
3. 最高品質の環境配慮印刷を提案します。(紙・インキ・印刷方式等)
4. 製造での負荷を相殺する手段として、負荷の一部ですが森林などの緑化事業やグリーン電力などカーボンオフセットを行います。
5. 紙の消費を抑えるため、電子媒体(WEBやCD-ROMなど)など代替成果物をお客様にご提案します。
6. グリーン購入や環境に配慮した会議運営のグリーンコンベンションの普及や啓発など社会的な活動を企業として支援します。
7. 顧客だけではなく、仕入先や当社の社員、その家族を含めたステークホルダーに対しても環境への配慮活動を啓発していきます。

私たちは、常に環境配慮という視点にたって「サステナブル経営」と「低炭素社会」への実現へ向けて、「印刷とWEBのビジネスモデルの確立」を全社一丸となって取り組みます。

株式会社 プリプレス・センター 代表取締役 藤田 靖

環境方針

環境保全に関する基本方針

地球環境の保全は人類共通のテーマであり、企業も自らの役割を認識し具体的な行動を起こすことが必要です。株式会社プリプレス・センターはすべての事業活動において環境に配慮し、積極的に環境の維持・改善・啓発に取り組み、社会から信頼される企業を目指します。

環境方針

1. 環境に配慮した商品開発を行い、販売に努めます
2. 環境関連法規制その他を遵守し、汚染の予防に努めます
3. 省エネルギー・省資源・廃棄物の適正管理に努めます
4. 社屋の緑地の整備と周辺環境美化に努めます
5. 事業活動における環境負荷の低減に努めます

平成 16 年 5 月 1 日 制定
平成 18 年 5 月 1 日 改定
株式会社 プリプレス・センター
代表取締役 藤田 靖

事業所の概要

1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社 プリプレス・センター
代表取締役 藤田 靖

2. 所在地

〒060-0002 北海道札幌市中央区北 2 条西 14 丁目 2-3

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 総務部長 川向 公博
連絡先 TEL : 011-272-6670 FAX : 011-272-6680

4. 事業の内容

企画・デザイン・制作・印刷(オフセット・オンデマンド)・製本・マルチメディアコンテンツ制作・EC サイト構築

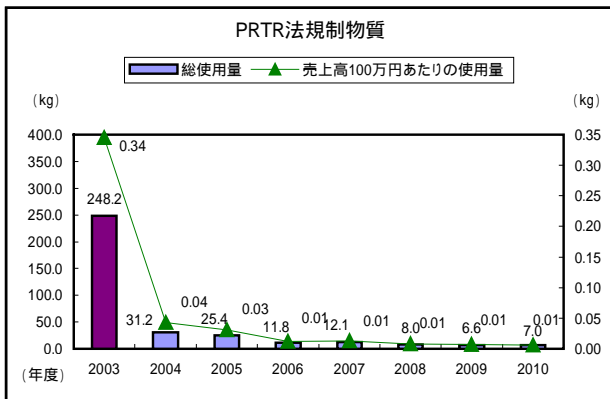
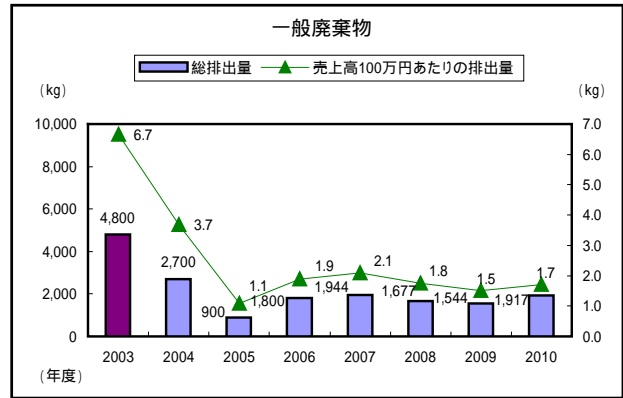
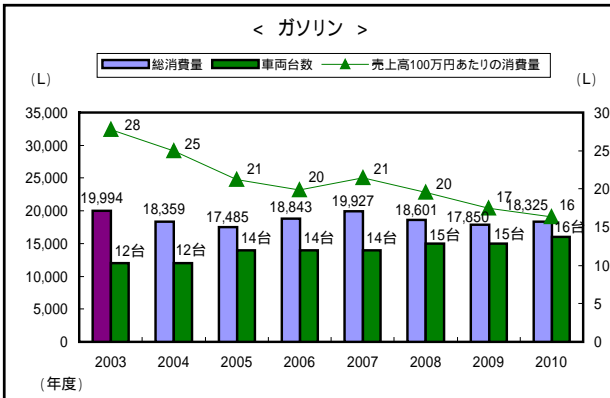
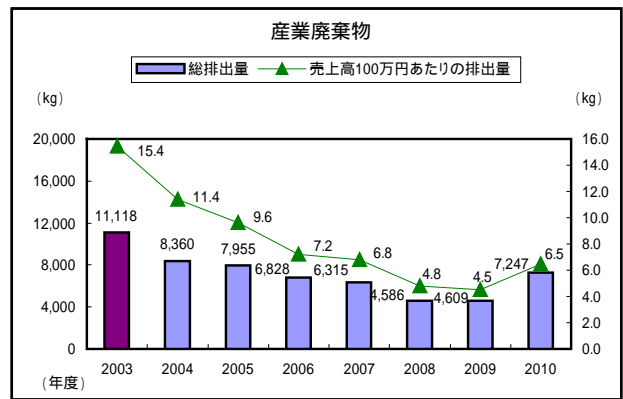
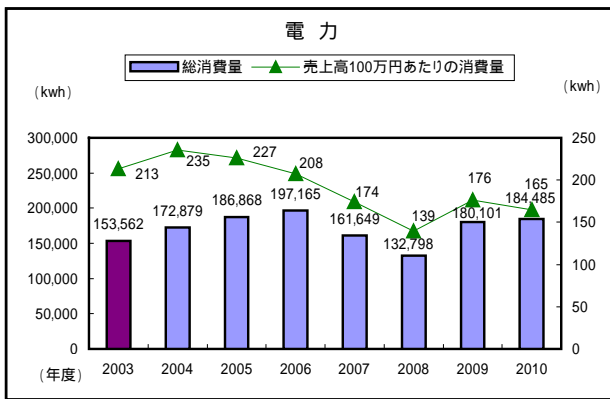
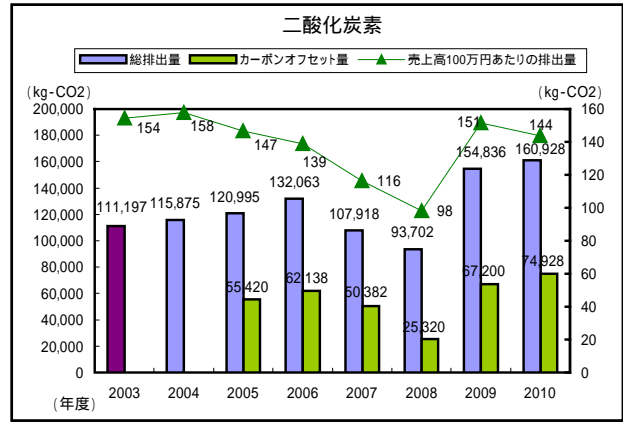
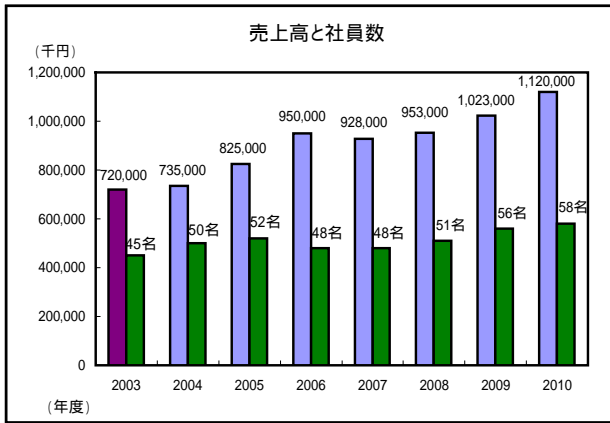
5. 事業の規模

活動規模	単位	2010 年度
売上高	千円	1,120,000
従業員数	人	58
床面積	m ²	1016.02

6. 対象事業所

- (1) 札幌本社：北海道札幌市中央区北 2 条西 14 丁目 2-3
- (2) 工場：北海道札幌市東区東苗穂 2 条 3 丁目 4-48
- (3) 東京本社：東京都台東区蔵前 4 丁目 3 番 5 号
- (4) 倉庫：北海道札幌市白石区中央 2 条 6 丁目 3-6

環境への負荷状況の推移 (2004年度から環境活動開始)



電力消費量の増加要因
稼働時間の延長
ガソリン使用量の増加要因
車両の増加および活動範囲の拡大
産業廃棄物の増加要因
札幌本社(倉庫)と東京本社の片付けに伴い、不用品を廃棄した為
一般廃棄物の増加要因
人員増加の為
2010年度のカーボンオフセット
「74,982kg」(オフセット予定量)
PRTR法について
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律のこと

補足説明

2009年度からの電力消費量増加の要因

2009年度より、他社施設内にある自社製造設備にメーターを設置し電力消費量の測定を開始したため。また、製造設備増設も増加の要因である。

2009年度からの二酸化炭素排出量増加の要因

上記、電力の増加要因と電力の排出係数変更が主な要因である。

電力の排出係数

2008年度までは、全国の電力会社の平均値を使用していたが、2009年度より、エコアクション21の規格の改定があり各電力会社別の係数を使用する事になった。(全国平均0.378 北海道電力0.588)

北海道電力の排出係数：環境省にて2009年12月公表の係数を使用

カーボンオフセット後の二酸化炭素排出量について

カーボンオフセットとは

直接的な施策によって削減できないCO₂(カーボン)を、森林吸収源を守る植林やクリーンエネルギー(太陽光、水力、風力、地熱)などの事業に投資することなどにより、排出した分を相殺(オフセット)する仕組みのこと。

当社は「NPO法人コンベンション札幌ネットワーク」のレガシーカーボンオフセット事業「サミットの森」にてカーボンオフセットを実施しています。

《 事業活動排出分のカーボンオフセット実績 》

消費者負担 0% 当社負担 100%

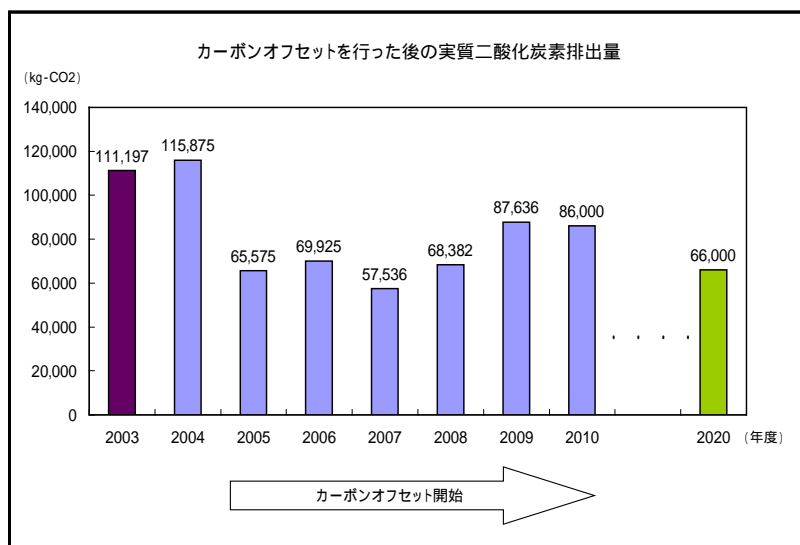
2010年度カーボンオフセット実績 67,200kg

株式会社プリプレス・センター 2010年間伐完了			
承認番号	SOB-001-2010	オフセット対象	企業活動
オフセットする範囲	電気、ガス、水道、ガソリン	全体に対する割合	2009年度分全部
カーボンオフセットする量	10.4t-CO ₂	施業地	社警町、0.417ha、トドマツ、間伐
株式会社プリプレス・センター 2011年植林			
承認番号	BIH-007-2010	オフセット対象	企業活動
オフセットする範囲	電気、ガス、水道、ガソリン	全体に対する割合	2009年度分全部
カーボンオフセットする量	56.8t-CO ₂	施業地	美幌町、0.18ha、カラマツ

(NPO法人コンベンション札幌ネットワークのHPより)

二酸化炭素排出量 削減計画(カーボンオフセット後)

「2020年度までに2006年度排出量(132,063kg-CO₂)の50%削減を目指します」



カーボンオフセットについて

日常活動で削減出来ない分を毎年カーボンオフセットし、オフセット後の排出量を2006年の総排出量をベンチマークとして、この数値の50%以下(66,000kg)を2020年度までに達成できるよう活動しています。

カーボンオフセット商品とは

商品を購入する事で、お客様ご自身が二酸化炭素の排出量削減に貢献できる商品のこと。

当社のカーボンオフセット商品

グリーンエコ年賀状（名入れ年賀状・パック年賀状）

年賀状の購入を通じて北海道美幌町に植林を行える商品です。名入れ年賀状は 310 枚分で、パック年賀状は 1 パック（3 枚入）を 36 パックで、カラマツ 1 本の植林を行います。

カーボンオフセットカレンダー

カレンダーの購入を通じて北海道美幌町に植林を行える商品です。カレンダー 100 冊に付き、カラマツ 1 本の植林を行います。

2010 年度カーボンオフセット実績 293,340kg

年賀の森 株式会社プリプレス・センター				
7	承認番号	BIH-011-2010	オフセット対象	企業活動(2010年度)
	オフセットする範囲	製造時排出分	全体に対する割合	一部
	カーボンオフセットする量	255.4t-CO2	施業地	美幌町、0.78ha、カラマツ
カーボンオフセットカレンダー2011 株式会社プリプレス・センター				
10	承認番号	BIH-(101~185)-2010 (受託会社85社)	オフセット対象	企業活動
	オフセットする範囲	製造時排出分	全体に対する割合	一部
	カーボンオフセットする量	37.94t-CO2	施業地	美幌町、0.12ha、カラマツ

(NPO 法人コンベンション札幌ネットワークのHPより)

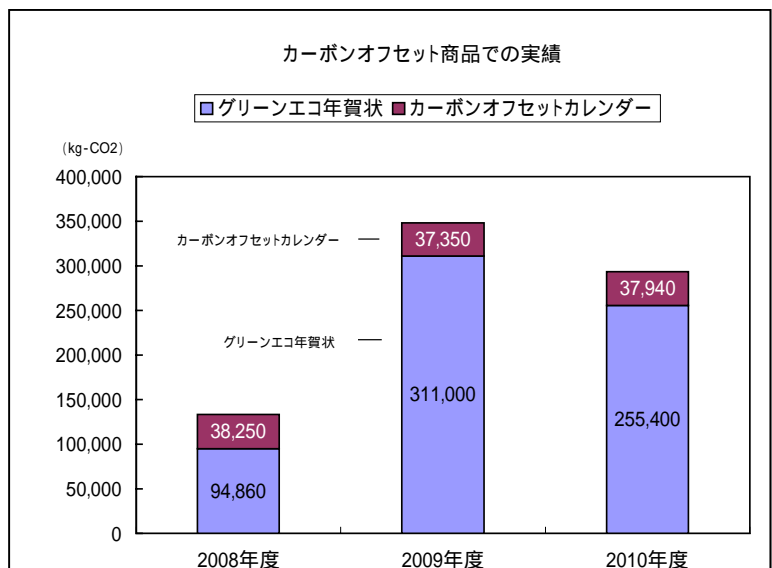
グリーンエコ年賀状

<http://www.pripress.co.jp/greeneco/>



カーボンオフセットカレンダー

<http://www.pripress.co.jp/cos/>



主要な環境活動計画の内容と評価

1. コピー用紙の削減・紙のリサイクル 目標設定せず、日常管理を実施

(1) コピー用紙は、両面使用する。

(2) 「古紙分別表」の通り分別し、所定の保管場所に置く。分別された紙ごみは、随時リサイクル置き場に保管する。

保管された古紙は、随時業者が回収し、再資源化されます。

2. 廃棄物の削減・ごみの分別 目標設定せず、日常管理を実施

「ごみ分別表」の通り分別し、所定の保管場所に置く。

(1) 一般ごみ：札幌市環境事業公社にて回収 焼却

(2) 不燃ごみ：札幌市環境事業公社にて回収 埋立

(3) 産業廃棄物：公清企業及びリプロワークにて回収

3. ガソリン節約（札幌本社・工場） 目標設定せず、日常管理を実施

営業車及び配送車のエコドライブ実施。

4. 社屋の緑化・周辺の美化（札幌本社） 目標設定せず、日常管理を実施

玄関等の緑の維持管理。当番による社屋周りのゴミ拾い。

5. 節水への取り組み（札幌本社）

環境活動を行う前から、節水型トイレやトイレ擬音装置（音姫）の設置を推進し、節水に取り組んでいる。

評価

上記1～5については、2004年より継続的に実施している。大幅な経営資源の投入を行わない限り、これ以上の成果が見込めず、従来の日常管理を継続実施した。概ねルール通り実行されており、次年度も日常管理を継続する。

6. 化学物質の使用量削減（工場） 目標設定せず、日常管理を実施

評価

2004年度に印刷溶剤等を一斉に見直し、環境配慮型の製品へ移行しこれ以上の削減が見込めないため、維持管理を継続する。

7. 札幌本社～環境配慮製品の販売数量

目標： 環境配慮型カレンダー 92,000個 実績：52,016個（未達成/達成率56.5%）

グリーンエコ年賀状 400,000枚 実績：256,880枚（未達成/達成率64.2%）

評価

アイテム数を増やした結果、販売数量が分散してしまい目標に到達出来なかった。

当社は先駆的に商品開発を行い販売してきたが、他社が同じような商品を販売したため、数量が減ってしまったと考えられる。

8. 工場～印刷事故の削減

目標： CTP 損版 月 5 版（年 60 版）以内 実績：年 25 版（達成 / 達成率 240%）

オフセット印刷 月 1 件（年 12 件）以内 実績：年 12 件（達成 / 達成率 100%）

オンデマンド印刷 月 1 件（年 12 件）以内 実績：年 2 件（達成 / 達成率 600%）

評価

定期的な機械メンテナンスやワークフローの見直しで、目標を達成する事ができた。カラーマネジメントの再設定や品質管理の方法を見直したことにより、なんとか目標を達成する事ができた。しかし、事故に繋がるようなミスがあり、更なる改善が必要である。

9. 東京本社～廃棄物の削減

目標：一般廃棄物、一人当たりの排出量 66.0kg 以下(年間) 実績：58.9kg(達成 / 達成率 112%)

評価

一般廃棄物への資源物の混入を防ぐ為、管理方法を改めた。(日々のチェック、定期的な告知、教育などを実施)

10. CO2 排出に係るバウンダリ(対象範囲)の拡大

社員の家庭への啓発とともに、CO2 排出量を算出しカーボンオフセットする。

宅配便を利用して納品する際の輸送に関わる CO2 の排出量を把握しカーボンオフセットする。

(算出根拠：発送物の数量・重量、輸送距離などを算出し、経済産業省・国土交通省の「物流分野の CO2 排出量に関する算定方法ガイドライン」を参考に当社基準を作成し算出する)

評価

39 名(37 世帯)参加 132,291kg-CO2 排出 / 社員参加率 67%

社員に配布したフォーマット

2010年6月分		氏名													
使用量		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計	
1 電気(北海道電力)	kWh	6,346	6,316	6,289	5,970	5,660	6,136	6,627	11,115	10,451	10,263	9,475	8,079	92,612	
1 電気(東京電力)	kWh	664	399	1,079	1,137	852	881	981	1,342	1,376	1,147	944	639	11,981	
2 都市ガス	Nm3	313	272	213	1,85	206	280	395	528.2	569	498.1	557	443.3	4,461.6	
2 LPG(プロパンガス)	L	70.70	58.10	88.30	83.30	86.8	103	101	111.9	111.5	108	102.2	95.8	1,121.6	
灯油	L	724.50	259.00	281.00	259.00	642.3	1,162	1,893.6	2,169.6	2,383.4	1,301.4	1,092.8	580.6	12,749.2	
ガソリン(ハイブリッド車)	L	975.68	1,194.23	1,032.4	932.52	739.80	1,106.72	1,032.57	1,434.95	1,043.84	1,155.73	1,078.01	898.35	12,624.9	
軽油	L	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
CO2排出量(自前計算されます)															
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計	
電気(北海道電力)	kg-CO2	3,731	3,714	3,698	3,334	3,328	3,602	4,014	6,536	6,145	6,035	5,571	4,750	54,459	
電気(東京電力)	kg-CO2	220	312	358	377	283	292	326	446	457	381	313	212	3,978	
都市ガス	kg-CO2	680	573	449	390	424	585	833	1,114	1,200	1,050	1,174	925	9,407	
LPG(プロパンガス)	kg-CO2	212	177	265	250	281	309	303	326	356	324	307	288	3,367	
灯油	kg-CO2	1,905	645	700	645	1,601	2,896	4,719	5,406	5,939	3,243	2,723	1,447	31,770	
ガソリン(ハイブリッド車)	kg-CO2	2,285	2,773	2,397	2,165	1,718	2,569	2,397	3,331	2,423	2,683	2,503	2,086	29,310	
軽油	kg-CO2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	kg-CO2	8,895	8,194	7,887	7,162	7,824	10,263	12,692	17,189	16,499	13,718	12,892	9,717	132,291	

各宅配業者及び輸送先毎に発送数量を集計し算出 11,355kg-CO2 排出

CO2 排出の算出に使用のフォーマット

届け先	距離 km	件数								個数合計	重量(t) 1個4kg換算	CO2排出量(kg)	個数 区別 合計	区域	
		シズナイ	ヤマト プロパー	ヤマト 工場	ヤマト cardbox等	ヤマト その他	佐川 プロパー	佐川 商企	佐川 年賀						
北海道	札幌市内・近郊	130	1,392	1,786	125	169	926	1,724	1,408	704	8,234	32.94	76.21	13,250	北海道
	その他道内	176.0	28	1,792	127	99	107	736	1,609	518	5,016	20.06	62.56		
北東北	青森	253.8	0	25	0	8	7	90	113	15	258	1.03	46.62	744	北東北
	秋田	385.9	0	6	0	15	2	53	109	13	198	0.79	54.40		
	岩手	373.6	0	35	0	20	32	82	101	18	288	1.15	76.61		
南東北	宮城	534.0	0	112	13	89	19	116	16	37	402	1.61	152.84	876	南東北
	山形	542.1	0	2	0	20	0	55	58	6	141	0.56	54.42		
	福島	594.8	0	46	0	53	0	67	149	18	333	1.33	141.02		
関東	東京	831.0	0	841	353	1,708	140	463	437	443	4,385	17.54	2,594.48	7,608	関東
	神奈川	858.2	0	68	37	664	0	261	129	129	1,288	5.15	787.02		
	千葉	834.8	0	88	5	372	0	102	48	59	674	2.70	400.61		
	埼玉	813.4	0	144	18	354	3	87	48	60	714	2.86	413.51		
	山梨	855.6	0	2	0	30	0	25	64	7	128	0.51	77.98		
	栃木	732.3	0	14	0	44	0	10	7	5	80	0.32	41.71		
	群馬	766.3	0	15	0	58	0	5	6	7	91	0.36	49.65		

その他の環境活動など

1. カーボンオフセット年賀状販売を通じた植林活動「年賀の森（美幌町）」での下草刈りを実施
(2010.06.26)



下草刈りとは

植樹した苗木の生育には日光が必要です。苗木の周りには、苗木より背の高い草木が多く生えています。そのため苗木に十分な日光が当らず成長を妨げられ生存すらできなくなることがあるため、背の高い草木を刈る「下草刈り」が必要となるのです。

2. 北海道グリーン購入ネットワーク主催の「第2回「サミットの森」in 札幌白旗山下草刈りに参加
(2010.07.24)



3. 北海道グリーン購入ネットワーク主催の「カーボンオフセット植林・ガイドウォーキング体験ツアーin イコロの森」に参加
(2010.11.06)



4. 美幌町とカーボンオフセット事業の協定を結ぶ (2010.06.27)



北海道新聞(地方版)2010年6月29日号より

5. 東京都足立区の「あだち区民まつり(A-Festa2010)」において、当社の環境すごろく「環境戦隊サスティナー」が無料配布され環境啓発に協力(2010.10.09~10)



当社制作の環境すごろく「環境戦隊サスティナー」
当社HPよりダウンロードできます。



6. 中小企業家同友会全国協議会主催の「2009 年度同友エコ」において、外部審査員賞を受賞
(2010.07.09)



大分県別府市にて開催の「中小企業家同友会全国協議会第 42 回定時総会」にて表彰式が行われました。

7. グリーン購入ネットワークの「一斉行動キャンペーン」に全社で参加



(2010.06)



(2010.12)



(2011.03)

8. 札幌市発行の「企業による地域・社会貢献事例集 SAPPORO」に当社の環境活動が掲載 (2011.03)



次年度の主要な環境活動計画の内容

紙のリサイクル・廃棄物の削減・ガソリン節約・節水・節電に関しては、2004年より継続的に取り組んでおり、今後、大幅な経営資源の投入を行わない限り、これ以上の成果が見込めず、これからも現状の日常管理を継続していく。

1. 札幌本社～環境配慮製品の販売促進

目標： 環境配慮型カレンダーの販売数量 53,100 冊
グリーンエコ年賀状の販売数量 173,000 枚

2. 工場～印刷ミスの削減

目標： CTP 損版 月 5 版以下（年間 60 版以下）
オフセット印刷 月 1 件以下（年間 12 件以下）
オンデマンド印刷 月 1 件以下（年間 12 件以下）

3. 東京本社～環境配慮型印刷物の受注拡大

目標： FSCTM 認証紙使用の印刷物受注件数(14 件)
水無し印刷物受注件数(9 件)

4. その他の環境活動計画

- (1) 社員の家庭への啓発とともに、CO₂ 排出量を算出しカーボンオフセットする。
- (2) 宅配便を利用した際の輸送に関わる CO₂ 排出量を把握しカーボンオフセットする。
- (3) 事業活動で排出された CO₂ をカーボンオフセットする。
- (4) 地域貢献活動：植林や下草刈りに参加する。

5. 中長期的活動計画及び目標

- (1) CO₂ の排出量を抑制していく。(カーボンオフセット含む)
目標：2020 年までに年間 66,000kg-CO₂ に抑える。
- (2) 製造品に対する CO₂ 排出量の算出する。
目標：2015 年を目処に自社製造品の CO₂ 排出量（製造時）を明示する。

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

罰則・行政指導に関わる義務違反規定について、違反及び関係機関から指摘はなかった。また、訴訟等も一件もなかった。

代表者による全体評価と見直しの結果

- ・ 本業としての「印刷事故の削減」が課題。減少傾向計にあるが、潜在的な事故見受けられる。更に抜本的な改善の必要がある。
- ・ 東京本社の目標を「本業に則した目標」に移行する。
- ・ 植林や植林後の管理（下草刈）など、今後も地域貢献活動を継続していく。
- ・ CO₂ 排出に関わるバウンダリの拡大（社員の家庭や輸送時の CO₂ 排出量）の取り組みが進んできた。今後は、更なるステークホルダーへの啓発（家庭からの CO₂ 排出量測定の参加者の増加や家庭における節電等）を推進していく。

過去の環境活動等の紹介

1. 北海道洞爺湖サミットの公式ポスターの印刷を受注（2008年）



2008北海道洞爺湖サミット
公式ポスター 印刷(2008年)

日頃の環境配慮活動が関連機関から認められ、公式ポスター・公式ガイドブックの印刷を受注することができた。
用紙やインク、印刷方法についてはグリーン購入のガイドライン等を参考とした。

2. 「2009 日本パッケージングコンテスト」において、弊社が製造した坂本龍一さんの北海道限定シングル「nord」のCD ジャケットが日用品・雑貨包装部門賞を受賞（2009年）



特徴

- ・ 紙のみで出来ている。
- ・ のこぎり屑を50%以上配合した環境対応紙を使用している。
- ・ 外側ケースは、折り畳み形状で設計されており、糊を一切使用していない。

企業及び代表者の環境活動

1988年

創業と同時に北海道リサイクル運動市民の会の発足から第一回目のフリーマーケット開催に携わる。(1988年から1991年まで事務局長。フリーマーケットのアメリカ現地視察、当時の北海道知事、横道孝弘氏との意見交換、札幌市のアースデー、環境月間行事、リサイクル月間行事などに多数かかわる)

1998年

小部数など必要な量を印刷することができるオンデマンド印刷機「インディゴ社 E-Print1000」を導入。年賀状ベンダー事業を開始。オンデマンド印刷による年賀状印刷はロスが少なく、注文が入ってから製造する方式で北海道で初めての試みとなる。(現在では、年賀状印刷においてオンデマンド印刷は当たり前となっている)また、ペーパーレス化と知識の共有を目的に、グループウェア「ロータスノーツ」を導入。(社員一人に一台のパソコン)

1999年

札幌市中央区のJR桑園駅近くに工場を新設。環境に配慮したオンデマンド水なしオフセット印刷機「ハイデルベルグ社 Quick Master DI」を導入。

2003年

社内製造 IT 業務ワークフローの省力化や DB 化を目的にブラウザ上で稼動する「JOB 管」を開発。

2004年

ISO14001 認証取得。

2005年

グリーン購入ネットワーク理事、札幌市環境活動推進会議委員に就任。

挨拶状・年賀状の e コマースサイト「Cardbox」が経済産業局 IT 経営百選奨励賞を受賞。新しいビジネスモデルと省力化されたワークフローなどが高く評価される。

2006年

印刷と WEB の新しいビジネスモデルの提案を目的に携帯 ASP サービス「モバイル店長」、ビジネスブログ「かんたネット」の販売開始。「JOB 管」やグループウェアの導入、環境配慮活動などが評価され、IT 経営百選優秀賞を受賞。

2007年

環境マネジメントシステムを ISO14001 からエコアクション 21 に変更。(認証・登録番号 0001952 本社及び工場)

2008年

グリーン購入ネットワークの地域組織である、「北海道グリーン購入ネットワーク」の設立に向け活動を行う。エコアクション 21 の認証・登録範囲に「東京営業所」を追加。

FSC™ (Forest Stewardship Council、森林管理協議会) の COC 認証を取得。(認証コード CU-COC-811067)

2009年

イギリスで設立されたカーボンマネジメント・カーボンオフセット企業 co2baiance と排出権取引契約。

「2009 日本パッケージングコンテスト」において、弊社が製造した坂本龍一さんの北海道限定シングル「nord」の CD ジャケットが日用品・雑貨包装部門賞を受賞。

2010年

中小企業家同友会全国協議会主催の「2009 年度同友エコ」において、外部審査員賞を受賞。

